

みなしご通信



交通事故被害の鹿 どう救う

犬猫みなしご救援隊広島本部の近所の山には野生の鹿がたくさん生息していて夕暮れ時から夜9時過ぎぐらいまでは鹿たちが川の水を飲み山を下りて道路を横断して行きます。私たちは交通事故に遭わなきゃえが：いつもヒヤヒヤドキドキしています。田舎Ⅱ人が居ない、だから事故は起こさない：うちの付近を通っている人はこの考えの人が多から、通る車はみなぶっ飛ばします。そしていつもその犠牲になるのは動物たちです。それもうちの近所だと鹿です。

ここところ、短期間に3匹の負傷鹿が来てそのうちの2匹が亡くなり、うちの者たちも私も先生たちもみんな意気消沈しました。ですが落ち込んだところで

なんの役にも立たないので、私は広島市に電話して《鹿飛び出し注意標識》を設置して欲しいと要望しました。ひし形の黄色い動物の絵が書いてある道路標識です。その標識が設置されたからと言って運転マナーが向上するとは思いませんが、無事いよりあったほうがええですし、自称・動物愛護家としてなんらかの手を講じないとダメじゃと思うたんです。

唯一、じんわり頑張っているパンくんも骨が飛び出るといふ大きな傷を負っていたのであつという間に顔も腫れて呼吸すら苦しうなったり、ポロポロのフンがベタッと固まったようになつたり、折れた部位が一気に腫れてしまつたりと、いろいろな事が起きました。



とはいえ、人間界にあるものを食べる練習をしないと私は手術には踏み込めません。麻酔をかけて断脚したけど術後に何も食べん：だと予後不良で死んでしまいますからね。飛び出た骨のところは青い薬を塗るまくつて、ここで感染を食い止めようとうちの者たちは必死で食い下がっていきました。パンくんは食べたたり食べなかつたりといろんなことを繰り返しながら、保護から24日目。私が広島本部に帰った時にはパンくんはすっかり人を信用してました。『上出来！上出来！よくここまで馴らしたね♪』うちの者たちは一歩先のことを

読むことは苦手ですが、やれと言われたことはきつちりやつてのけるのです。こくゆくとこが信頼できるところでうちの強みなんですよね♪

私は柿やトウモロコシ、梨やリンゴやニンジンなどパンくんのためにおいしいものをみなしごバスに乗せて持って帰って来ました。パンくんの足は前も後ろも4本とも折れていておそらく自力で立つことは無理です。パンくんはまだまだ万全な状態ではないけれど人間界のものが食べられるようになっていたのでイチかバチか断脚&去勢手術をする決断をしました。去勢もしたという事は当たり前ですがパンくんは生涯うちで暮らすということでした。

手術から12時間後の朝7時に食べました♪術後のこの食欲を考えて手術に踏み切るより先に人間界のものを食べる練習を重ねてきたのです。これまでの私の経験で学んだことです。どんぐりもポリポリ♪これか



らは立派な飼鹿になるパンくん、立てなくなつたうちで暮らすならまったく構わんしね♪

3日後の朝、パンくんはお迎え隊に抱っこされて外に出ました。このままが自然でええ感じなんです、あれでも《悪いヤツ》が来ちゃいけないのでカバーはしました。この後どくやつて反すう動物を寝たきりで快適に生かしていくか、いろいろとアイテムを考え試していきます。

田舎の意識改革

私たちが山形置賜地区のTNR一斉を始めて何年で

すかね。4、5年ぐらいは経っているのかと思います。が山形置賜地区の人々の野良猫に対する意識が格段に変わりました。

最初のころは子猫が生まれると悪いことだと知りながら他に方法がないし増えたら困るから仕方がないと《生きたまま》川に流したり地中に埋めたりが当たり前に行われておりました。これは悲しいことに日本中どこもそうでした。だからこそ私は地方に《押しかけて》TNR一斉をやるうと思っただけ。

それで私たちが《安価な金額》で《多頭救を一斉に》TNRを始めたことにより子猫が生まれなくなり、子猫を産んでいた母猫たちの健康状態がよくなったので「これぐらいの金額でこんなにいい事になるなら助かるよ」とウワサになりました。田舎でウワサになったから早いです。多くの人たちが「生まれる前に不妊手術を」という意識が変わり今回も30匹予定だったのが

倍の60匹の子が来ました。そればかりかすでに《次回予約》も入り『早く次の予定をたてなきゃ』と、むしろ私の方が追いたてられています(笑)

車椅子のロン

1年がかりでようやく保護し、椎間板ヘルニアで大病院で手術を受けたがぜんぜん治らず、うちで引き取ることになった中型雑種のロンちゃん。野犬なんだけど保護した人からよくお世話されていたから、うちの者たちには普通になついています。ロンはオシッコもウン〇もお構いなしに出るのでそれだと生活の質が



落ちるということで、うちでは圧迫排尿・排便をしています。車椅子で普通に動く前足の筋トレをしています。車椅子は最初は怖がりましたが今はうまいこと暴走します(笑)

私は誰のお世話もしないので基本は誰からも相手にされないのですがなぜか体の不自由な犬は必ず私のところへ挨拶に来てくれるんですよね。なんか、ジーンとくるような話でしょ。車いすで立つだけでもじゅうぶんトレーニングになるし狭くたって無問題！なんたって犬猫みなしご救援隊は行き場を失った子を《より多く助けること》《これが一番の活動理念ですから。

ロイカナで購入

ロイヤルカナン社とLINE友だち登録した後にロイヤルカナン社の公式ホームページ(HP)からフォームを購入していただくと、犬猫みなしご救援隊にも&購入者であるあなたにもポイントがたまる等の《お得

なこと》があります！ぜひ皆さま、ロイヤルカナン社とのLINE友だち登録と同社の公式HPからのフォーム購入をしてください。あなたがロイカナのフォームを購入することで犬猫みなしご救援隊にお得なことが起きるためには、スマホからロイヤルカナン社とLINEで友だちになる必要があります。LINEのQRコードで友だちになってもらう形式です。
 ※※QRコードは犬猫みなしご救援隊専用です。
 本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

ソフトバンクの「がざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。
<https://japangiving.jp/supports/1281> 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html>に
 掲載しております。

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711